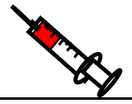
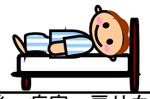
入院診療計画書（間質性肺疾患精査　火曜入院　水曜気管支鏡検査）

ID番号　　氏名　パス作成　　様　　病棟

病名（他に考える病名）　　症状

担当医師　　印　　担当看護師　　担当薬剤師

月日	月　日	月　日		月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
経過	入院日	気管支鏡検査当日（検査前）	気管支鏡検査当日（検査後）	検査後１日目	検査後２～４日目	検査後5日	検査後６～８日目	検査後９日目
目標	検査の目的と内容について理解することができる。	検査内容を理解し、心身ともに安心して検査を受けられる。	・合併症なく過ごすことができる。 ・安静を守ることができる。					退院後の自宅療養の注意点について理解して退院出来る。
検査	・心電図検査,胸部レントゲン検査,血液検査、尿検査,呼吸機能検査,CT検査があります ・**入院中**に6分間でどのくらい歩行出来るか検査があります。 ・息切れなどについての質問票があります。記入できたら医師に渡してください。	気管支鏡検査をします。 レントゲン室または呼吸器内科外来で検査をおこないます。 ・検査の前に歯磨きをしましょう	がんばりましょう！ 	・胸部レントゲン写真を撮ります 		・採血があります ・骨塩定量の検査があります		お大事に！
処置		（呼吸器内科外来にて） ・気管支鏡がスムーズに喉を通るように吸入をします。 ・スプレーを使って喉に麻酔をします	酸素吸入をしながら検査を受けます 	・循環器内科の受診があります				
観察	体温、血圧、脈拍、酸素量など測定を１日1回行います。	・検査前に熱や脈、血圧、酸素量を測ります。 ・検査中は血圧、酸素量を測る器械をつけて観察します。	検査終了後、病室へ戻り血圧、脈拍、酸素を測る器械をつけながら、１時間くらい経過をみます。その間はﾍﾞｯﾄﾞの上で安静にしていてください。	体温、血圧、脈拍、酸素量など測定を１日3回行います。	体温、血圧、脈拍、酸素量など測定を1日1回行います。	→		
注射		・点滴をします。 ・落ち着いて検査を受けられるよう、肩に注射をします	検査２時間後､水分を摂取して問題がなければ点滴を抜きます。					
内服	持参した内服薬があれば、薬剤師と看護師が確認します。 許可されている薬のみ内服してください。	朝は指示された薬のみ内服してください。	検査終了２時間後から内服許可されている薬は飲んでも構いません。		→			
食事	制限はありません。	・朝食は食べて構いません。その後は何も食べないでお待ちください。 ・水分（水やお茶、ﾎﾟｶﾘｽｴｯﾄ）は午前11時までは摂取しても構いません。それ以降は何も飲まないでお待ちください。	・検査後２時間（　時　分まで）はなにも口に出来ません。 ・検査後２時間経過したら、看護師見守りのもと水分を摂取します。むせりがなければ飲食可能となります。	制限はありません。	→			
行動	・日常生活に制限はありません。	・検査に行く前にトイレを済ませ、入れ歯がある方は外してください。 ・ボタンのついた服は着用せず、病衣を着用してお待ちください。湿布やカイロは外してください。	・検査終了後から病室に帰ってくるまでは車椅子で移動します。 ・検査後１時間はベッドに横になって休んでいただきます。眠気が覚めたらトイレなど歩行しても構いません。	日常生活に制限はありません。	→			
説明	看護師から入院生活や気管支鏡検査について説明があります。 薬剤師から持参薬の確認があります		喀血や血痰が見られることがあります。その場合は確認のため看護師にお知らせください。	退院後の注意点（感染予防,息切れ時の対応、呼吸訓練）について説明します。 →				次回受診日の説明をします。

注1）病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
注2）入院期間については現時点で予想されるものです。

福島県立医科大学附属病院　　パス承認番号（№.１６５）　　承認（更新）月日（Ｈ２５年２月２７日）

特別な栄養管理の必要性
有　・　無

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名：　　続柄：